

近畿地方整備局
資料配付

配布日時	平成18年6月30日 14時
------	-------------------

件名	<p>平成18年度社会実験実施に着手 <small>～歩行者優先施策、道路空間の有効活用など～</small></p> <p>”堺市の^{おおしろうじ}大小路シンボル^{にぎ}ロード賑わい社会実験 など、近畿5つの地域で社会実験に着手”</p>
----	--

概要	<p>この度、国土交通省では、平成18年度の社会実験を実施する地域を25地域選定したところです。近畿地方整備局では、5地域を選定し社会実験の支援に着手します。 (資料1、資料2、参考1)</p> <p>具体的には『ハンプや狭さくの設置など歩行者優先施策』、『歩道空間を活用した自転車駐車場設置など自転車利用環境向上施策』、『通り名・位置番号方式による道案内システム』等の実験を実施します。</p> <p>一例として、堺市では、大小路において、既存駐車場の利用及びバスの活用を促進することによる通過交通の抑制効果を検証するとともに、来街者に分かりやすい道案内を実施し、その実施効果・効率的な案内方法などの課題を検証します。</p> <p>和歌山市でも、来訪者が減少している中心市街地において、分かりやすい道案内を実施し、その効果や道案内の効率化の検証をします。</p> <p>社会実験は、既存制度の大幅な見直しを伴う、先進的かつ斬新な施策について、当該施策を本格実施に移行するにあたって、事前に効果や影響を確認するため、場所と期間を限定して試行・評価するものです。</p>
----	--

取り扱い	-
------	---

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
------	-------------------------

問い合わせ先	<p>道路部 道路計画第二課長 田中基裕 内線4251 課長補佐 迫俊郎 内線4252 地域道路課長 横谷利昭 内線4611 課長補佐 河野康史 内線4612 電話：06-6252-8121(代表)</p>
--------	---

平成 18 年度 社会実験実施地域一覧

全国では、25 地域、近畿では堺市など、地域活性化のため 5 地域で社会実験を行います。

No.	地域	実験名称	実験概要
1	滋賀県 草津市	南草津地区くらしのみちゾーン施策の有効性検証実験	南草津地区の生活道路において、一方通行規制の時間延長やハンプや狭さを設置による通過交通の抑制効果を検証する
2	大阪府 吹田市	商店街・企業・NPO・自治会・行政で創造する“江坂エスコタウン再生”社会実験	江坂駅西側の歩車共存道路において、道路上における駐輪施設の整備を試行するとともに、自動車の進入を禁止した上で道路を活用した賑わい活動を実施する
3	大阪府 堺市	堺大小路シンボルロード賑わい社会実験	堺市の大小路において、既存駐車場の利用及びバスの活用を促進することによる通過交通の抑制効果を検証するとともに、来街者に分かりやすい道案内を実施する
4	大阪府 藤井寺市	あんしん歩行エリア内の通過交通の速度抑制社会実験	藤井寺市中心部の生活道路において、ハンプとクランクの設置による自動車の通過及び速度の抑制効果を検証する
5	和歌山県 和歌山市	和歌山市まちなか街道案内社会実験	和歌山市の中心市街地において、来街者に分かりやすい道案内を実施する
6	北海道 帯広市	帯広まちなか歩行者天国社会実験	帯広駅前の道道及び市道において、歩行者天国を実施するとともに、駐車場の利用向上策を実施する。また、駅前から馬車を運行する
7	北海道 釧路市	こちよい湖畔、のんびり温泉『阿寒湖』社会実験	阿寒湖周辺地区の商店街内の道路において、一方通行化とともにボンエルフ化を実施し、路上駐車抑制効果を検証する。また、駐車場、商店街、住宅地を結ぶ循環バスを運行する
8	北海道 札幌市	安全・安心で魅力的な道路空間の創出実証実験	薄野地区において、夜間に歩行者天国化する歩行者優先施策を実施する。また、大通り地区において、タクシールールを設置する
9	岩手県 盛岡市	馬車が走るスローで素敵なまち盛岡の魅力づくり社会実験	盛岡市の中心部の道路において、観光馬車を運行し、周囲への影響や、安全性の検証を行う
10	岩手県	官と民のコミュニケーション向上プロジェクト(いわてロードユーザーズクラブ)社会実験	盛岡市内において、NPOが道路利用者からなるロードユーザーズクラブを設置し、利用者の視点での改善要望や地域活動に取り組む
11	宮城県 仙台市	杜の都のまちなか自転車実験	仙台市中心部において、広幅員歩道内で歩行者と自転車の分離を促す路面標示を試行するとともに、自転車レーンを設置する
12	秋田県 五城目町	朝市と商店街の共存、安全・安心な道路空間確保等の実験	五城目町中心部において、一方通行規制を実施した上での仮歩道の設置により歩行者空間を確保するとともに、ハンプによる自動車の速度抑制効果を検証する。また、道路を活用して既存の朝市の設置方法の改善を試行する
13	福島県 郡山市	“音楽都市郡山”イメージ創出社会実験 2006	郡山駅前通りにおいて、広幅員歩道を賑わい空間として活用するとともに、市街地における自転車降車のルールづくりに取り組む

14	福島県 浪江町	浪江ゆうゆう通り交通安全対策社会実験	浪江町の町道において、ハンプによる自動車の速度抑制効果の検証とともに、イメージ歩道の設置による歩行者優先施策を実施する
15	埼玉県 所沢市	市民主体の歩行者に安全なまちづくり導入実験	小手指駅前の生活道路において、ハンプや狭さくによる自動車の速度抑制効果の検証とともに、歩行者と自転車の分離を試行する
16	埼玉県 杉戸町	宿場町杉戸「五十市」復活社会実験	東武動物公園駅周辺道路において、歩行者と自動車の分離を試行するとともに、歩道における溜まり空間の設置を実施する
17	東京都 国分寺市	ハンプの連続設置及び抜け道利用者への自覚促し実験	国分寺市内の生活道路において、ハンプや狭さくによる自動車の速度抑制効果を検証するとともに、抜け道利用を見合わせるよう協力を呼びかける活動を実施する
18	東京都 新宿区	道路空間の再配分による自転車等の駐車スペース確保・整序化実験	新宿駅西口において、歩道空間を活用して二輪車駐車場(車道から乗り入れ)、自転車駐車場(歩道から乗り入れ)を設置し、設置形態等を検証する
19	神奈川県 横浜市	区民と創る、人と桜にやさしい賑わいの道路空間社会実験	大岡川のプロムナードにおいて、自転車走行レーンを確保するとともに、住民参加による溜まり空間の整備を試行する。また、人と桜にやさしい舗装の試験施工を実施する
20	神奈川県 相模原市	安全で快適な道路空間の再構築による賑わい創出社会実験	相模原市の買物公園道路の歩道において、たまり空間を確保するとともに、路上駐車帯の利用促進活動を実施する
21	新潟県 佐渡市	電動自転車サイクリングで小木観光エリア活性化実験	佐渡の小木地区において、路面標示等の設置により自転車走行レーンを仮設し、電動自転車のレンタサイクルを実施する
22	愛知県 豊田市	IT・ITS技術と連携した地区交通安全対策社会実験	豊田市の中心市街地において、カーナビと連携した通過交通抑制とともにハンプや狭さくによる自動車の速度抑制効果を検証する
23	島根県 出雲市	「にぎわいと活気」を取り戻す大社町社会実験	大社地区において、通り名を利用した道案内及び歩行者空間の確保を実施し、観光客の回遊性及び安全性を検証する
24	島根県 隠岐の島町	島まるごとミュージアム構想道路空間の再生実験	西郷港周辺地区において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施する
25	広島県 広島市	ひろしま物流まちづくり社会実験	広島市の中心部において、路外・路上に共同荷捌き施設を設置することによる路上荷捌き車両の削減効果を検証する

通り名・位置番号方式による道案内システム（堺市）

【施策の概要】

日本の住所表示は「街区方式」であるため、欧米の「道路方式」と比較して、観光客や外国人など地域に不慣れな人にわかりやすく案内をすることが難しい状況であるため、通り名と位置番号を組み合わせた「通り名・位置番号方式」を試験的に実施することにより、その実施効果・合意形成・効率的な案内方法などの課題を検証します。

【ねらい】

通り名と位置番号を使って、案内したい場所をうまく特定できるルールを作り、地域に不慣れな人に対してわかりやすく道案内ができるようにすること。

場所を特定するルール（通り名・位置番号方式）

- ・ 通りに名称を付ける。
- ・ 通りの起点から 10m 単位の概ねの距離を位置番号とし、起点を背に右側に奇数番号、左側に偶数番号を表示する。

【代表事例】 実験名：堺市の大小路シンボルロード賑わい社会実験

わかりやすい道案内、自転車・バス等の利用促進、駐車場などの有効利用など

通り名による道案内
屋号の表示： 屋
看板、写真、商品等
も表示も併せて行う

「通り名による表示」の例
住所：山之口東4、営業時間：9～0時
店の名前：夢庵：ギャラリー、集会所

**パーク&ぶらりウォーク周辺
地区での駐車場の有効利用**

大小路筋(西側を望む)

**パーク&ぶらりウォーク
歩行者、自転車、シャトルバス等
の利用促進**